



人と動物の 深いつながり

心 あ っ た か ニ ュ ー ス

人の動物の深いつながりを考えるニュースがありましたので、ご紹介します。定年後の人生が激変！カラスから猫を助けた「お父さんと猫」の物語、その後「猫からもらった若返り」NHKBBSの番組「石田ゆり子 世界の犬と猫を抱きしめる」イギリス編で、イギリスの猫保護施設「ギヤッツップロテクション」などを取材。高齢者であっても飼育能力があれば譲渡され、方が一、飼育できなくなった場合は、再度保護施設が引き取りケアするというしくみが徹底されているそうです。石田さんは、日本では、歳をとると、動物を飼うのは難しい現状であること、老いているこそ、大切な犬や猫が必要と語ったこと、高齢者のペット飼育崩壊はもちろんな大きな問題。ただダメを浸透させるのではなく、高齢者でも猫や犬と暮らせる社会が日本でもできてほしいという声が上がったそうです。FRUで子猫を助けたおうちのことが2023年4月末に親父と猫 定年後に

待っていた猫ライフ』というタイトルで書籍化されたそうで、カラスに襲われていた衰弱した子猫を助けて、家に連れて帰り、子猫が家族になってからのことを、息子さんがお話されています。子猫の名前はるちゃん。『るるが実家に来る前は、父は定年退職前で少し元気がありませんでした。でも、るるの成長とともに驚くのは、父の笑顔が増えたことです。ニタアとかニヤニヤと表情がほがらかにリラククスしていることも増えた』、「お父さん、嬉しいみたい」と母から報告があるんです。SNSでも父に対して、「若返った」とコメントをいただくことが多いのですが、家族も驚くほど肌つやもよく、母が撮影する写真では父の瞳がうれしそうにキラキラしていることも多いです(笑) また、お母さんのことは「これを話すと驚かれるのですが、母がスマホ自体を持ったのは、るるが家に来る少し前です。それまでほとんど撮影したことなんてありませんでした。最初は、どこにプリントが来ているのかよくわからない写真も来ましたが、でも、今では、すごい瞬間を捉えた写真が送られてきたりもして、驚くこともあります。母曰く、特に狙って撮っているわけではない、とこと。でも、母の写真は、日常の何気ない場面を切り取りながらも、父の

笑顔がいつぱいで、その写真を撮っている母もきつと笑顔なんだなと思えるんですね。そして、その写真を見る、僕もまた笑顔になる。そして、その写真の中心には、るるがいる。本当にるるの存在は、僕ら家族に笑顔を運んできてくれたんだな、と思います」

編集後記

去年から、高齢者には！という内容ですが、私は、人には！ということに思えてなりません。人は、誰かのためになることで幸せを感じられる生き物ですから。この誰かは、人でなくとも、動物にもということだと思えます。大切な相手がいて、大切にしている。根本、人はそういう生き物のようです。その概念を変えて、ベースとなるような、社会、教育となる。いいなと思います。